



いながき

7月の消防議会と活動報告

隠ぺい ケジメつけ出直しを！

～救命士暴行事件は犯罪～



いとう

前代未聞のもみ消し。— 事件の概要。119番通報で駆け付けた救急車。救命士が救急活動を進めている最中に、傷病者の知人の酔漢が「遅い」と怒鳴り、殴るけるの乱暴。隊長が羽交い絞めで制止。警察官の派遣を要請。全治2週間のケガ。消防本部は許せない事件として吉川警察署に被害届けを提出、告訴した。警察は2回にわたり、消防関係者7人について6時間余事情聴取。それが後日内々にとり下げられ組織内での説明も一切なく、示談工作で幕に。誰が、なんのために—。7月8日の吉川・松伏消防組合議会。どうケジメをつけるのか。その必要を強調し、出直しを求めました。

<取り下げは前管理者（前市長）の指示> 市民社会の常識に反し、消防魂をおとしめる行為。誰が、何のためにそのような工作を命じたのか—。との追及に対し新管理者（中原吉川市長）は先の組合議会（3月31日）で消防の幹部や事件当日の現場出動隊員らについて調査した結果▽消防本部の指揮・命令の系統は、きちんと維持されている▽「取り下げ」は前管理者の指示にもとづくものと明言。▽調査は椎葉副市長立ち合いのもとに行ったと公表。その事実を再確認した上で質問に入りました。

<自浄能力を欠く消防組織> 中原新管理者は今回、▽酒井消防長を口頭注意処置にしたこと▽組織の運営・管理の全責任は管理者の自分にあること▽公正で透明、安定感のある消防行政の構築につとめることを繰り返し強調。これで決着をはかりたいとの意向を示しました。しかし消防組合の本部ではその後もこの事件について職員全体に対する報告や説明は一切行われていません。話し合いや検証作業の形跡も見当たりません。前管理者は新聞報道で取り下げの事実を否定。消防本部に出向いて消防長にもその旨を伝えています。これで決着をはかることができるのでしょうか。一步踏み込んで消防長の更迭、早急に人事を刷新する必要があると指摘しました。現場のトップは職員と組織を管理し統括する立場。その職責と義務を放棄していると言葉を加えました。

<第2、第3の不祥事の恐れ> 救命士暴行事件は明らかに犯罪行為です。市民社会の安全と安心を脅かす、公務執行妨害の現行犯です。それが何故ヤミの中で処理されたのか。組織内で疑問を感じたり説明を求める声がなぜ出ないのか。第2、第3の不祥事を防ぐ手立ては何なのか。反省も検証もなく、こうした指摘に耳を閉ざし、旧体制の人事を温存したまま、押し通すことができるのかと問いかけました。

新管理者を取り巻く状況。若いリーダーの心境に意を配りながらも、なんとか健全な組織の土壌を築く、その英断を下せるようにと願っています。

<自民議員が動議連発 議事中断も> 消防議会の質問時間は1時間。途中加藤議員（自）などの動議連発で発言が2度中断。消防組合は「被害届を出したのであり告訴はしていない」。告訴の表現は誤りであり訂正をという要求。「長の更迭」発言は行き過ぎ。「加害者と示談相手は同一人物か」は噂話であり取り消すべきとの主張でした。消防が警察に組織として被害届を出すことは捜査や処罰を求めていることであり、これを告訴というのは刑事訴訟のイロハです。前市長も現消防長も事件を軽く見せたいためか同様の発言をこれまで繰り返しています。そして今回の加藤議員。少々疲れしました。 ※裏面の4ページに続きます。 (いとう)

いながき茂行 栄町782番地1C-1101 TEL&FAX 983-1628

Eメール iimachi.yoshikawa@gmail.com

いとう 正勝 きよみ野2-8-2 TEL&FAX 983-1117

Eメール itoh.m-y.runesansu@nifty.com

*これまでの議会活動報告は、いながき茂行公式ホームページでご覧いただけます。ブログは毎週土曜日更新 <http://www.inagaki-s.com>

初めての「市長キャラバン」 直接市民と話し合う！ いながき茂行

6月25日より始まった「市長キャラバン」が7月16日終わった。

キャラバンは、市長が3つのテーマ、①市庁舎建設②吉川美南駅東口整備③中学校建設について、直接市民の意見を聞き、話し合うというもの。

市内11か所の地域で開催され、延べ600人を超える市民が参加。それぞれの思い、意見や提案を語るとともに、質問も多く出されました。

各事業の概要及び現状や課題等については、庁舎整備担当・吉川美南駅東口整備担当・教育委員会学校教育課と教育総務課の職員が出席し、説明。

その後、参加者からの意見を伺い、市長がコメント。

一テーマ30分前後のディスカッションでいったん区切り、まとめ言い足りなかった点は、『私の意見』の用紙に記入。帰りに提出又は投稿していただくことに。

これまでのように、市の考え方や方向性を示した上で、意見を求めるのではなく、白紙の状態、自由な発想と考えを聞き、話し合う集まりでした。3つのテーマの内、最も関心が高く時間を費やしたのは、「市庁舎建設」問題でした。

新庁舎建設事業

今年3月、東洋ゴムの免震装置の偽装が判明。当市でも設計に採用していた免震装置の認定も無効となりました。

今までの設計が使えなくなつたこと、また、『高すぎる建設費』の縮減を図りたい市長の意向により、この機会に改めて市民の意見を聞き、見直しをするためのキャラバンです。

市民にとつて、身近な場所であり、また基本構想時予算30億8千600万円から実施設計終了時、48億1千700万円と大幅に膨らんだことで、『なんで、そんなことになったのか』『財政的に問題はないのか』等、疑問に

対する説明もありました。

【主な意見】

- ▽一刻も早く建設をすべき。市の予算で賄え、返済可能であればやむを得ない。
- ▽もう一度見直しをすべき。余りにも建設費がかかりすぎる。
- ▽民間とのタイアップや既存の商業施設等の活用を考えたらどうか
- ▽地震や水害等に耐える建物を。防災拠点としての機能は重要。
- ▽身の丈に合った予算で簡素な造り。職員が働く事務スペースを中心に考え、規模の縮小を。
- ▽地域の活性化と発展のため、旭や三輪野江地区に建設を等。



「市長キャラバンに参加して」

『行政が提案し、意見を求めるのではなく、ゼロからスタートする。一緒に作っていく。』
中原市長の言葉に、「市長キャラバン」への思いを感じました。
行政から、方向性や具体的提案が示され、それについて意見を言う。今までのやり方。

白紙の状態、なんでも言うてくださいと言われると困つてしまふだろうと思つていたが、ほとんどの参加者は、自分の意見や思いを堂々と市長に話をしていった。改めて、いろいろな見方、考え方があり、『3人寄れば文殊の知恵』でした。言葉や表現は様々ですが、しっかりと聞けば言いたいことは伝わってきます。

話をしている人は皆、幸せそうな顔でした。自分の話を聞いてくれる人がいること、そして、話が出来ることの喜びを感じているようでした。

同時に、市や議会・議員からの「情報」が、いかに届いていないかが分かりました。

この先、新庁舎の見直しについて、新たな案が示された時、多くの市民は、市の判断・決定を理解し、受け入れると思う。

それは、自分たちの話を直接聞いたうえで、判断した結果、出されたと考えからです。

市民の率直な質問、意見、提案の中に、3事業だけでなく、これからの行政需要や市政運営のヒントがありました。

「市長キャラバン」を行った意味は大きい。
(いながき)

【具体的な経費削減策】

▽免震構造から耐震へ▽敷地面積を縮小し建物が高くする▽吹き抜けや市民スペースをなくす▽会議室を多機能多目的に利用し、議場等の議会スペースを削減▽商業施設やマンションを併設し、賃貸収入で借金返済を▽美南開発地域に民間資金での建設を▽建設価格が下がるまで待ったら等、活発に意見、提案が出されました。

「新庁舎の方向性判断は、9月〜12月に！」

今後、新庁舎建設について、見直しの方向性が出されます。意見の整理・検討に1か月、方向性の判断、見直し案の作成・検証に2〜3か月を要すると考えられます。

建設費の圧縮・削減のため、白紙に近い視点での見直しを実施。建設費・場所・時期・事業方法等、多角的に検討・検証が行われ、方向性が提案される予定です。

先日、東京オリンピックのメイン会場となる「新国立競技場建設計画」が、コスト増の批判を受け白紙撤回されました。ゼロベ

ースでの見直し、コスト削減は当然のことです。

吉川では、新庁舎・第4中学校の建設さらに、吉川美南駅周辺整備等、多額の費用を必要とする事業が続きます。

人口増により、税収は若干伸びてはいるものの、高齢化は進みます。次の世代へのツケ(借金)は、出来るだけ少なくし、子育て支援や介護保険等、必要とされる事業の拡充ができるようにすべきではないでしょうか。

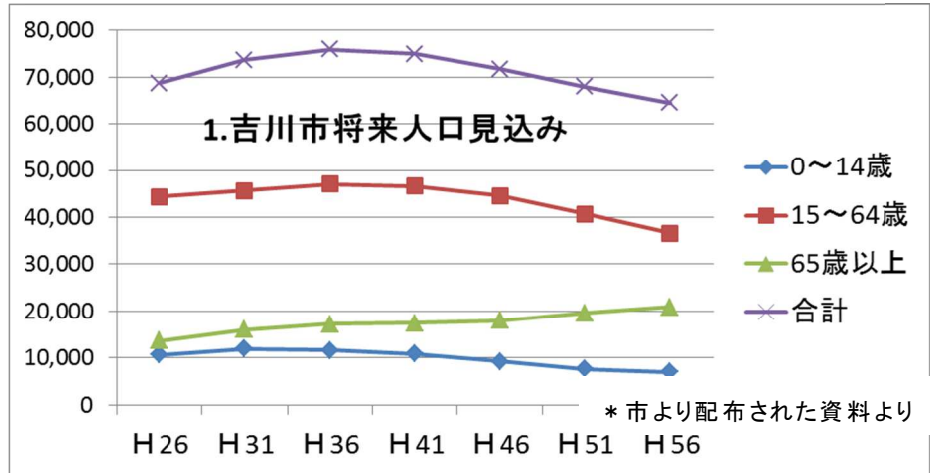
吉川美南駅 東口周辺整備

【主な意見】

- ▽スピード感を持って事業推進
- ▽民間ダイベロツパーの活用
- ▽魅力的な公園整備を
- ▽病院や文化会館、トレーニング室、温泉等、核となる施設を
- ▽「道の駅」で地場産業をPR
- ▽自転車安全に走れる街
- ▽雇用に繋がる産業の誘致
- ▽調整池の隣に公園を。池の周りは遊歩道に等。

総事業費約174億円、市負担約46億円を投入する吉川市

が中心となつて行う事業。7月〜9月、出された意見を整理・検討し最終案を作成。9月〜11月は、地権者説明会・意向確認調査。その後、平成28年度中の都市計画決定に向けた県・国の関係機関協議を再開する予定です。



第4中学校建設

【主な意見】

- ▽早期建設を
- ▽南中学校と第4中学校を統合して、美南駅東口に
- ▽スクールバスを使い、減少地区の学校へ振り分けて対応
- ▽特徴ある中高一貫校
- ▽防災施設
- ▽複合施設は不要等。

これまで市は、『駅南地区の生徒数の推移を見極めながら対応する』としてきました。

建設には、4年かかることから、平成28年より準備し、32年に開校予定。生徒数は、700人〜740人を想定。

建設費は未定。基本設計と複合化の内容により変化するため。土地は20億円で土地開発公社より購入を予定。建物は美南小の23億円を上回る見込み。平成27年5月1日現在の生徒数は、2108人(東・南・中央合計)ですが、第4中学が開校する平成32年には、2525人になる見込みです。



不祥事は地域・組織を映す鏡！

—誇りを胸に。オール吉川で前へ—

＜誇りを胸に＞消防本部入口。玄関掲示板。消防士募集の今年のポスターの標語です。使命感に燃えた、熱くたくましい消防士。救命士たち。その職務を妨害し、けがを負わせるいまわしい事件の発生。組織として毅然として取り組むことは当たり前のこと。市民社会の常識だと確信しています。

『前市長・前管理者に伺います』 市政発展へのご尽力に感謝申し上げます。その上でこの「事件」に関連しての問いかけです。▽「告訴」でなく、「被害届」を出しただけですか。その認識と理由をどうぞ。▽「取り下げ」はあなたの「指示」ですね。誰のために、なんのために出したのですか。▽これは職権の乱用。現場職員のやる気をそぐ違法な職務命令ではありませんか。▽「名誉棄損」で訴えることになりますか。

『消防長。消防職員の皆さん』 ▽「取り下げ」は前管理者の「指示」との公表をどう受けとめましたか。▽この事件は個人のことでなく組織全体の問題として、内部で話し合い検証し今後の糧にすべきことだと思いますが。如何ですか。▽同様の妨害事件に遭った場合、今回と同じ扱いや処理ですませますか。▽おかしいことはおかしいと口に出す勇気とみんなで話し合える空気や場も必要。そんな職場にしてください。消防長に。▽管理・統括する職務を放棄していると申し上げたい。職員に、市民に対しても説明し、反論があれば堂々と反論して下さい。

『県議。各市議会議員の皆さん』 ▽吉川選出の県議会議員様。市議会議長を経験し自民党支部長の実力者。▽告訴の「取り下げ」と「指示」はどう受けとめましたか。▽一部には「現場」の加害者と「示談」の相手は別人との話もあります。地域を代表する政治家として一度きちんと向き合っては如何でしょう。※この問題は斎藤、降旗、稲葉、稲垣、伊藤の連名で管理者に質問状も提出しています。市議会議員の皆さん。▽この事件は消防組合議会だけの問題ですか。▽「隠ぺい」や前市長の「指示」についての見解を市民の皆さんに発信して下さい。▽「ケジメ」はどうしますか。必要ありませんか。

『市長・管理者。市民の皆さん』 市長キャラバン。ご苦勞様でした。私も9回足を運びました。「消防」について。▽組織の土壌や前管理者の心情も察し、これで区切りになりたいとの思い、それなりによくわかります。▽この事件の根の深さ。そしてこの処理と扱いは今後の各施策や業務運営全般にわたりさまざまに影響するのではないかと思います。▽東芝や東洋ゴム工業の問題。組織の体質が問われ責任者は辞任の方向。公務の規律・規範はもっと重いとも言えます。▽透明で公正。風通しの良い組織の構築へ向け市民代表や第三者を交えての検証と再生についてもご検討下さい。市民の皆さん。▽トップが代わることによって一歩前進しました。▽これから先は市民の皆さんのご理解とバックアップが必要です。「誇りを胸に」できる吉川にしたいものです。（文責）伊藤 正勝

ツキ

人の世はめぐりあわせ。幸運もあれば悪運も。禍福も変転。

▽今回の事件。加害者は前市長の後援者の一族。有力政治家や庁内の大幹部も身内。じつ懇の間柄で選挙も迫る。情も絡んでやむなく裏工作。よもや暗転するとは！。

▽消防議会での追及。悪戦苦闘の一年余。不祥事の事実確認の調査は途中から「かん口令」も敷かれ、消防議会では管理者に合わせ、消防長が何度も「偽りの答弁」。修羅場の経験や「記者魂」がなければ厚い壁の前で立ち往生。隠ぺいはそのまま闇に包まれ沈殿へ！。

▽新市長の登場。しがらみのない立場でクールに迅速に精査。告訴取り下げは前市長の指示によるもの」ときっぱり。選挙に負けていればどんな展開になっていたのか。組織を挙げてのみ消し。多数の横暴で抑え込み。ドロドロともっと陰湿に。新市長の声は天から降ってきた清涼剤。これは市民の眼と選択が生み出したもの。

▽吉川市の由来は群生する「葎（よし）」から。この葎は芦とも呼ばれるイネ科の同じ植物。善しと悪し。表裏一体。紙一重。ままならぬ世。ツキ」は大事にしたいものです。つとむ

※3月議会報告。そのままの再掲載です。